

西小学校日記

10月25日(月)



22日・23日の2日間、5年生と6年生が「模擬避難所体験活動(防災キャンプ)」を行いました。

1日目は、活動①②として、瑞穂市役所市民協働安全課の佐藤さんに来ていただき、瑞穂市の防災についてお話しいただきました。また、学校に設置されている防災倉庫に何が保管されているかについて教えていただきました。話を聞いた後、体育館東の倉庫に保管されている防災テントを体育館の中に設置し、個人スペースを確保しました。

森市長さんも様子を見に来ていただきました。



活動④では、NPO法人レスキューストックヤードの代表理事を務めてみえる、瑞穂市内在住の栗田暢之さんに来ていただき、災害時の避難所の生活の実態等についてお話しいただきました。タオルを頭や首に巻くだけで、寒さを防ぐことができたり、目の不自由な方への補助の仕方なども学びました。



夕食は、ポリ袋を使って、ご飯を炊くことに挑戦しました。空気を抜いて袋を縛ることに案外苦労していました。



活動③として、牛乳パックを使っての灯籠づくりにも挑戦しました。児童1人が2つつづつ製作し、ロウソクライトを使って光のモニュメントを作りました。

